

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	青少年センター図書室運営			事業番号	038-070
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	地域教育振興

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進		
			無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7
		寄与するKPI	有	取組	生涯を通じた学びの支援		
			無	指標名	—		
			現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						—
3	事業開始年度			昭和 57 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		<ul style="list-style-type: none"> ■ 図書室の使用については、使用の許可、使用料等に関するものを除き、堺市立青少年センター等の設置及び管理に関する条例及び堺市立青少年センター等の設置及び管理に関する条例施行規則に準ずる。 ■ 図書室の運営については、堺市立図書館管理運営規則及び堺市立図書館各種要綱・基準等に準ずる。 				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	図書室の周辺地域の住民をはじめとする堺市民等	対象数	約82万	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	図書情報サービスを提供することにより、青少年をはじめ、広く市民の読書活動及び生涯学習の支援を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	「図書館情報ネットワークシステム」を利用して一体的・効率的な図書の貸出・返却を行うとともに、これまでに知らなかった、関心のなかった本に目を向けてもらう工夫として、ブックフェアを年間6回実施している。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	—				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標	点検年度	
	年間個人貸出者数	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
			目標値	21,000	21,000	22,500	21,000	
			実績値	21,645	22,533			
達成率	103%	107%						
当該指標を選定した理由		図書貸出が主要業務であるため、年間個人貸出者数に図書室の事業成果・活動実績が反映するから						
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績から設定 (緊急事態宣言発出による臨時休室、TC堺東の開館等の状況を勘案)						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標			
	利用者からのレファレンス・問合せ件数	回	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
			目標値	—	1,900	2,000		
			実績値	1,883	2,060			
達成率	—	108%						
当該指標を選定した理由		利用者からのレファレンス・問合せへの対応内容として、利用者に対する本に関する情報の提供が含まれており、親切・丁寧な対応を職員が心がけることで、その件数の増加ひいては個人貸出者数の増加につながるから。						
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績から設定						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	青少年センター図書室運営	事業番号	038-070
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	9,054	10,462	11,299	10,965	11,514
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
一般財源	9,054	10,462	11,299	10,965	11,514
14 人件費 (b)	4,950	5,800	11,480	11,480	11,480
15 年間経費(c)=(a)+(b)	14,004	16,262	22,779	22,445	22,994

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
会計年度任用職員報酬	R3 決算	7,699	7,699	消耗品費	R3 決算	343	343
	R4 予算	7,920	7,920		R4 予算	327	327
期末手当(会計年度任用職員)	R3 決算	1,552	1,552	通信運搬費	R3 決算	91	91
	R4 予算	1,676	1,676		R4 予算	96	96
費用弁償(通勤費)	R3 決算	957	957		R3 決算		
	R4 予算	1,093	1,093		R4 予算		
費用弁償(その他)	R3 決算	2	2		R3 決算		
	R4 予算	2	2		R4 予算		
青少年センター施設維持管理費等負担金	R3 決算	321	321		R3 決算		
	R4 予算	400	400		R4 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		17 ① 年間個人貸出者数	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	16,262	22,445
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	751	996
備考(算出についての説明等)		—	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

- 18
- 成果指標の年間個人貸出者数、活動指標のレファレンス・問合せ件数については、積極的な取組みを行った結果、7～8%増加させることができた。
 - 閲覧室の面積は堺市の図書施設の中で最も狭く、蔵書数も最も少ないが、年間個人貸出者数から見ても図書館の分館的役割を果たしており、設置効果は高いものと考えられる。
 - 新型コロナウイルス感染症対策、青少年センターの今後のあり方等の課題への対応に係る人件費が所要増となっていることから、令和3年度から単位当たり経費が増加している。今後は、感染症対策の定型化、青少年センターのあり方の明確化を進展させていくことにより、所要増となっている経費の節減に努めていくこととする。

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

- 19
- 広く市民の読書活動及び生涯学習の支援を図るため、司書資格保有者を5人配置し、レファレンスサービスの充実に努めている。
 - 図書館業務に必要な研修を積極的にオンライン受講するなど、各職員のスキルアップを図ることにより、利用者サービスの向上に努めている。
 - ブックフェアを積極的に実施し、それまで知らなかった本や関心のなかった本にも目を向けていただけるよう工夫している。
 - 子どもたちに図書館に親しみをもってもらうため、興味をひくような展示物を随所に配置し、子どもの利用の定着・増加を促している。
 - 読書離れの進む青少年層に、本に対する関心を持ってもらえるよう、青少年向け雑誌の新たな購入やコミックをほかの図書館より多く置くなどして、図書室に隣接の学習室利用の青少年にも図書室をもっと利用してもらう工夫を行っている。
 - 新型コロナウイルス感染症による閲覧制限等にもかかわらず、ブックフェアなどの各種イベントを可能な限り実施することにより、利用者が激減することなく、おおむね横ばいで推移させることができており、生涯を通じた学びの支援につながる取組ができたと考えられる。